

わんぱく相撲特別委員会基本方針

わんぱく相撲特別委員長 新井 啓悦

なぜ、相撲を取る子供たちの姿に、ここまで心を動かされるのだろうか。土俵の上で体格差に関係なく、勇気を奮い立たせ、真剣にぶつかり合い、全力を尽くしたからこそ、勝者敗者ともに分け隔てなくお互いを尊重し合い、そこに感謝の心が生まれる。その姿が見られるから、感動が生まれるのではないのでしょうか。青少年育成事業の側面として、全国大会出場者を決める予選大会としての相撲大会を行うのではなく、相撲というスポーツを通じて、挑戦する心やお互いを尊重し合う心、周囲に感謝をする心を育み、子供たちの一層の成長につなげる事業として、わんぱく相撲おおらか場所を開催します。

また、わんぱく相撲おおらか場所は、地域の交流事業としての側面もあり、これまでも多くの地域の皆様のご協力を頂いてわんぱく相撲おおらか場所を実施することができました。相撲の取組や大会運営のみならず、子供たちの食事や体験といったところでも、ご協力を頂いています。私たちだけで大会を開催したとしても、地域の特色や魅力を十分に発信することはできず、魅力の無い大会になってしまうでしょう。だからこそ、地域の皆様にご協力いただき、地域の様々な魅力を取り入れることで、「おおらか場所」としての意味を十分に発揮できるよう、大会を開催します。

私たちの地域のみならず、古くから日本国中で相撲がとられてきました。今でもこの地域には、過去から続く伝統のある相撲大会も存在しています。過去から地域に根付いているものを、地域の皆様と一緒に頑張って発展させていき、その先には、この地域から名力士が誕生し、新たな地域の魅力となるのかもしれない、そんな夢を創りあげられるように実直に大会に対して取組み、「第18回わんぱく相撲おおらか場所」を、青少年育成と地域交流を両輪として開催します。1年間皆様のご協力を頂いて、精一杯邁進していく所存です。宜しくお願い致します。

事業計画（案）

1. わんぱく相撲おおらか場所の開催
2. その他